



- \* 太平洋に照らす菜の花
- \* 颯爽お見舞い
- \* 咲いては散りゆく式
- \* 春めいた街
- \* 咲いては音楽、散っては忘却。
- \* かかってこい、桜がすべて散ろうと。
- \* 追い風 向かい風 春は

軽やかな揺れる太陽光線

絶え間ない時が今日を迎え入れ

果てしない昨日までを鮮やかに縁取る

振り向くと 零れ落ちそうなくらい

笑っているから 必死で思わず

あふれてくるものを こらえなきゃいけなかった

これっぽっちも知らないのに どうしてこんなに惹き寄

せる

季節の移ろいを告げる風 優しく佇む光を包み込む

その風景はいつしか夢見たような世界そのもの

見つめてくれる          見守ってくれる

そのことが大きな勇気につながっていく

焼きつけておく          思い出に変えていく

季節の風が華やかな香りを添えてくれるから

その風景の中で          優しく佇むあなたは永遠になる

ささやかなほとばしる感情折衝

終わらない宇宙は始まりを求め

今日もあてもなく拡がる

---

【初出】

2007/2/20(火)

「 太平洋に照らす菜の花 」

<https://blogs.yahoo.co.jp/komasen333/28819241.html>

「声が聞きたい」

その一言がハンドルを強く握らせる

季節は早くも 春 めき始め  
人々はコートを片手に軽やかな足取り

馴染みのオープンカフェ

ぽかぽか陽気に誘われた笑顔があふれ

外資系CDショップからインスタライブの

春 らしいメロディー

君のくれた外車をまたぎ

入院する病院

へ

幸せを肌で感じ取る

風はまだま

だ冷たくとも

るほど

街路樹の木々はまだまだ寒そう  
それなのに空気は 初夏 を思わせ

視線を集める

不快にさせないくらいのエンジン音でたくさんの

りに よく似合う

重みにかけるえんじの車体 冬の終わ

セレクトショップのショーウィンドーに映る  
自分眺めるスクランブル交差点

声を届ける

ほんとにそれだけでいいのか

気を遣うと無性に嫌がるから

向かうと

きはどこか手持ち無沙汰

久しぶりのお見舞い

はじめてのお使いのようときめいている

---

【初出】

2007/9/23(日)

「 颯爽お見舞い 」

<https://blogs.yahoo.co.jp/komasen333/36818784.html>

## 咲いては散りゆく式

---

見下ろしていた

窓からノスタルジアになる前の 笑み と 涙

眺めていた

改めて見ると、目新しくも見えた 見慣れた すべて

グラウンド

向かいの校舎

職員室

屋上のタンク

雲のない空

伊吹おろし

見惚れていた

その存在感 最後の最後まで多くの心に咲き続けていたその雰囲気

呼ばれて降りていく

いつもと変わらぬ無邪気 後輩に囲まれる姿が誰よりも眩しかった

いつのまにこんなとこまで来てしまったの  
あっという間の別れの日

君と逢えたことで	何もないことの虚無を知った
君と逢えたことで	努力の重みを知った
君と逢えたことで	表現の楽しみを知った
君と逢えたことで	積み重ねていく夢を知った
君と逢えたことで	時の尊さを知った
君と逢えたことで	心の底から喜びを知った

思えば

素直になろうとすればするほど

離れていったこの素直

思えば

返しきれなかった心象画が渦巻いたまま

応えきれなかった風景画が巡ったまま

君と逢えたことで

心

色づいた

君と逢えたことに

涙

溢れた

君と逢えたことで

夢

芽吹いた

もしか

いつかでまた逢えるのなら・・・

甘く苦く予感を契ろう

この日だからこそ

きっと

どこかでまた逢えるのかな・・・

強く深く希望を描こう

もっと輝いていくため

いつかでまた逢えたときには もう少し素直になっていて魅せるから  
どこかでまた逢えたときには その変わらぬ笑みで包んでくれたら

さよなら 今日でみんな さよなら  
さよなら 今日ですべて さよなら

寂しさも  
清々しさも  
儚さも  
愛しさも  
虚しさも  
騒々しさも  
切なさも  
嬉しさも  
悔しさも

美しさも

醜さも

たくましさも

もどかしさも

静けさも

やさしさも

素晴らしさも

今日でさよなら

とりあえず、さよなら

また、いつかで

また、どこかで

きっと きっと こんにちは

きっと きっと こんにちは

みんなでこんにちは

---

【初出】

2012/1/9(月)

「 咲いては散りゆく式 」

<https://blogs.yahoo.co.jp/komasen333/52949946.html>

## 春めいた街

---

自宅の向かいに  
鍼灸店が新たにオープン  
昨日の夕方  
店主が挨拶回りでお菓子をもってきた

予報と外気の狭間で  
悩みながら少し厚めのコートを着て  
向った駅のコンコース  
定期券売り場に  
大学生や新社会人の長蛇の列

今年もパッとやってきた  
春を感じる瞬間  
桜はまだ  
映像でしか見ていないけど  
街のいたるところで春が咲き始める

沈みがちだった心象  
ゆっくりとしっかりと晴れてゆく  
意識して入れ変えなくても勝手に跳ねる鼓動

何かをまた  
改めてはじめてみようかなとか  
誰かとまた  
新しく仲良くなってみようかなとか

現金なもので  
性懲りもなく今年度も  
色んな想いが  
静かに 高らかに 駆け巡ってゆく

2013/2/22(金)

「 春めいた街 」

<https://blogs.yahoo.co.jp/komasen333/53988577.html>

咲いては音楽、散っては忘却。

---

季節を  
終わらせましょう。

実らない季節を  
あきらめましょう。

踏ん切りをつけて  
新たな歩みを始め  
次なる光を探していく。

悲しみを増幅させてまで  
しがみついた過去なんて。

寂しさを引き摺ってまで  
なぞり返す過去なんて。

風にゆれる桜を見つめる老父。  
「今年も桜を見れた」と、喜びを噛みしめる。

満開を目映そうに見上げる学生。  
繰り返す原風景の1つとして胸に刻みつける。

舞う中で和やかに笑いあう新社会人。  
これから始まる新生活の不安と期待が駆け巡る。

アスファルトに散った花びらを拾う女性。  
「あと何度この桜を見れるのか」と考える木漏れ日。

それぞれの歌を鳴らしながら  
それぞれの詞を思い浮かべながら  
それぞれの人生と重ね合わせ、今を見つめ直す。

現在位置の尊さ  
未来地図の不確かさ  
ない交ぜにしながらも  
無言で咲いては舞い散る桜のように  
淡々と繰り返していく。

これまでも  
これからも  
ひたすらに。

それぞれ  
流されるままに  
風に吹かれるままに。

咲いては歌にされ  
散っては忘れ去られる  
桜のように。

2014/4/15(火)

「 咲いては音楽、散っては忘却。 」

<https://blogs.yahoo.co.jp/komasen333/54895192.html>

かかってこい、桜がすべて散ろうと。

---

数えきれない夢の中から

数えきれほどの目標を定めて走る

人波から離れて努力に耽ることも

努力から逃げたくて人波にまぎれることも

しかしながら、どこにいてもちらつく努力

近道だと思っていたら回り道だったということ

回り道だと思っていたら近道だったということ

振り返るまでわからない

その失望 この感動 **ありとあらゆる感慨**

季節が変わろうとも 諦められない夢がある

時代が変わろうとも 捨て去れない目標がある

だから

今日も僕はこうして何かしら綴っているんだろう

今日も君はそうして何かしら作っているんだろう

繰り返すだけじゃ近づけない

なぞるだけじゃ成長も成功も遠いまま

自覚から芽生える自核が磨き上げていく愚直

少しずつ工夫を増して減らして溶かしてく

下手な芸術家よりも芸術家らしい粘り強さで繰り返す工夫

少しずつ試行を足して引いて混ぜ合わせる

下手な科学者よりも科学者らしい粘り強さで繰り返す試行

「いつかできっと」と思いながら

そのいつかが、今日の「今」であっても動じないように

そのいつかが、今日の「今」であっても構わないように

一瞬一瞬に一步一步を刻んで備えていく

「どこかできっと」と思いながら

そのどこかが、目の前の「ここ」であっても動じないように

そのどこかが、目の前の「ここ」であっても構わないように

一瞬一瞬に一行一行を刻んで備えていく

## どこからでもかかってこいよ

あの日から描き続けている夢よ こっちは準備万端さ

あのあなたにも届くようにと

僕は繰り返し綴っていく

ただの繰り返しじゃない繰り返しを研ぎ澄ます

いつからでもかかってこいよ

あの日から繋ぎ続けている目標よ こっちは準備万端さ

あのあなたにも届くようにと

君は繰り返し作っていく

ただの繰り返しじゃない繰り返しを磨き上げる

桜が咲き始めても 慌てすぎなくていい

桜が咲き誇ろうと 嫉妬しなくていい

桜が散り始めても 気にしなくていい

桜がすべて散ろうと あきらめなくていい

夢が枯れることはない

確かな夢が灯となって照らし続ける道を歩み

僕は、繰り返し綴る僕を信じ抜いていける

無数の叶わなかった夢を見つめ

成長するとは限らないこと

神様の悪戯もあり得ること

成長だけが全てではないことを痛感しながら

目標が枯れることはない  
確かな目標が目印となって照らし続ける未知を歩み  
君は、繰り返し作る君を信じ抜いていける

無数の叶わなかった目標を見つめ  
成功するとは限らないこと  
確率の悪戯もあり得ること  
成功するだけが全てではないことを実感しながら

燦々とした太陽からの慈悲を全身で噛みしめる道  
散々な豪雨から学ぶ厳しさを全身で噛みしめる未知

綴る本能的な喜びを  
繰り返し噛みしめながら  
この一瞬一瞬を綴る時  
僕は誰よりも 本当の僕であるだろう

作る衝動的な楽しさを  
繰り返し抱きしめながら

その一瞬一瞬を作る時

君は誰よりも 本音の君であれるだろう

---

【初出】

2015/3/11

「 かかってこい、桜がすべて散ろうと。 」

<https://blogs.yahoo.co.jp/komasen333/55454984.html>

ここで作っていく

ここで作り続けていく

いつからか意識した

ここがすべての原点になるのだと

ここで描いていく

ここで描き続けていく

いつからか確信した

ここがすべての出発になるのだと

いつの間にか春

今年もまた春

先行で成功しても調子に乗らない

乗り遅れても落ち込むことはもうない

春の追い風は

心地よく背中を押し

花びらが舞うように

心は上昇気流に乗っていく

春の向かい風は

和やかに努力を促し

降り注ぐ陽光のように

心は未来航路を目指していく

ここで作っていける

ここで作り続けていける

いつから意識した？

ここがすべての原点として愛おしいと

ここで描いていける

ここで描き続けていける

いつから確信した？

ここがすべての出発として相応しいと

追い風に潜む向かい風のことにも忘れずに  
向かい風に滲む追い風のことにも忘れずに

今年もまた春  
作っていく 描っていく  
終わっていく春 始まっていく春

---

2015/3/20

「 追い風 向かい風 春は 」

<https://blogs.yahoo.co.jp/komasen333/55467607.html>

## komasen333の関連リンク

---

【 橙に包まれた浅い青 】

<http://komasen333.blog.jp/>

【 電子書籍 】

<http://p.booklog.jp/users/komasen333>

【 現代詩フォーラム 】

<http://po-m.com/forum/myframe.php?hid=6982>

【 無限な無心な無色なシャイニング・ブライトリー 】

<http://blog.livedoor.jp/sakowha333/>

【 なんちゃって自己啓発の詩想 ～ ポジティブ ポエトリー ポッシブル～ 】

<http://positivepoetrypossible.blog.jp/>

【 Life Love Laugh ～変わる心は恋のせいに 変わらぬ心は愛のおかげに 】

<http://lifelovelaugh.blog.jp/>

【 エンプティ エン エターニティ 】

<http://komasen333.hatenablog.com/>

【 photo photo photo 】

<http://photo3.blog.jp/>

【 禁カフェイン→脱カフェイン→減カフェインに下方修正 】

<http://nocoffee.blog.shinobi.jp/>

【 YouTube 】

<http://www.youtube.com/user/komasen333/videos>

【 SUZURI-オリジナルグッズ 】

<https://suzuri.jp/komasen333/products>

【 レポート・論文 】

[http://www.happycampus.co.jp/docs/983431505701@hc05/?docs\\_num=&m=2&v=&t=&e=&\\_\\_a=list\\_bar](http://www.happycampus.co.jp/docs/983431505701@hc05/?docs_num=&m=2&v=&t=&e=&__a=list_bar)

【 Twitter 】

<https://twitter.com/komasen333>

【 note 】

<https://note.mu/komasen333>

【 VALU 】

<https://valu.is/komasen333>

【 Gridge 】

<https://gridge.com/komasen333>

春ポエム7 ～ 春の詩7 ～

<http://p.booklog.jp/book/121039>

著者 : komasen333

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/komasen333/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/121039>

電子書籍プラットフォーム : パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社トゥ・ディファクト